

ペアレントメンター養成研修等事業

1 事業の目的

発達障害児(者)の子育ての経験のある親であって、その経験を活かし、子どもが発達障害の診断を受けて間もない親などの相談・助言を行う者（以下「ペアレントメンター」という。）の養成に必要な研修会等を実施し、家族の支援及び家族同士で支援できる体制の構築を図る。（山口県発達障害者支援センターに委託して実施。）

○ペアレントメンターとは

メンター（mentor）とは、「信頼のおける相談相手」の意味。子育ての疑問や悩みなどについて当事者である親同士が話しをしたり情報交換をしたりして、精神的な支えとなったり適切な支援機関等へつなぐことを目的とした親による親の支援

2 ペアレントメンターの役割

- ①同じ親として、障害理解や障害受容への支援を行う
- ②発達障害とそれに関連する情報の提供を行う
- ③専門機関への相談のきっかけづくり

3 ペアレントメンターによる相談活動に期待される効果

- ①同じ障害児を育てている親なので、心理的な抵抗感が少ない。
→親の割り切れない思い、人には言いづらい迷いなど、支援機関等の専門家に話しにくいことも話しやすい。
- ②似通った経験をしたことがある者として共感でき、寄り添うことができる。
→共感を持って聞いてくれるメンターに、安心していろいろな想いを話せる場があることで、親の気持ちが楽になる。
- ③様々な子育ての経験を提供できる。
→将来の見とおしが見えやすくなる。
→障害のある子ども自身への関わりだけでなく、きょうだいや祖父母など他の家族への対応や、地域の学校や支援機関との関わり方についてなど、有効で汎用性のある対応方法が提供できる。
- ④経験に基づく地域の医療機関や支援機関などについての情報が提供できる。
→相談者に適した身近な情報が提供できることで、支援開始の早期化に繋がる。

